

飯能商工会議所会館建設設計監理業務公募型プロポーザル
選定結果、審査講評

飯能商工会議所会館建設設計監理業務プロポーザル審査委員会

審査委員長 三井所清典
委員 山辺豊彦
委員 安井 昇
委員 田島慎司
委員 加藤義明

1、 概要

- (1) 名 称 飯能商工会議所会館建設設計監理業務プロポーザル
(2) 選定方法 公募型プロポーザル

2、 審査スケジュール

第一次審査募集	平成 30 年 4 月 2 日～5 月 1 日	40 者より提出
第一次審査会	平成 30 年 5 月 11 日	書類審査 5 者選定
第二次審査技術提案書提出	平成 30 年 5 月 31 日	
第二次審査会 (公開ヒアリング)	平成 30 年 6 月 12 日	5 者により公開ヒア リング 最優秀者、準優秀者 選定

3、 第一次審査 平成 30 年 5 月 11 日 (金)

提出された 40 者の内、参加資格と提出様式の逸脱がないことを確認した後、40 者を業務実績や組織構成、課題提案について審査基準に基づき採点し、ヒアリング要請者を 5 者に決定した。

4、 第二次審査 平成 30 年 6 月 12 日 (火)

ヒアリング要請者 5 者の公開ヒアリング (プレゼンテーション 20 分、質疑応答 10 分) を実施した後、ヒアリング内容や技術提案書についての意見交換、協議を行い、各審査委員が審査基準により採点を行った。採点結果を基に最終的な審議を行い、最優秀者及び準優秀者 (次席) を決定した。

5、 選考結果（設計監理候補者）

最優秀者 有限会社 野沢正光 建築工房

準優秀者（次席） 株式会社 SALHAUS

6、 審査講評

飯能商工会議所会館建替え企画に際して実施された設計監理業務公募型プロポーザルは、次のような地域尊重型の木造化あるいは木質化という特徴があった。

- 1、 地元の設計者が応募できる条件とすること
- 2、 木造あるいは木質化した建物とすること
- 3、 CLT材を一部用いること
- 4、 地元産の西川材を用いること
- 5、 現在は、防火上指定された地域ではないが、準防火地域の建築と同等の性能を確保すること

また、プロポーザルは2段階方式で実施された。

第一段階は、応募者の組織とその特徴及び地元西川材に対する認識と配置を問うものであった。特に西川材活用の課題と解決についてA4・2枚（様式6）の提出が求められ、それに基づく審査をおこなった。組織に対する審査はこのプロジェクトに取り組む組織と各種専門家の参加の体制が審査の対象である。第一次応募件数は40者と多く、主催者も審査員も共に喜んだ。

第一次審査会に先立ち、審査員は様式6に基づき、それぞれ20位までの順位を付ける作業を行い、審査会に臨んだ。審査は匿名である。西川材に対する認識と配慮について、それぞれが理解する特徴について絞り込みを行った。組織体制についても匿名の範囲で評価を行い、最終的に5者を選定した。

第二段階は、5者に対し一般のプロポーザルに比べ提案がわかりやすいイメージをA3・2枚で表現することを求めた。

第二段階の技術的課題は簡単に言って以下の3つである。

- 1、 建物の機能と特性及び西川材を用いて設計を進める体制、活用方法、構造や工法について。
- 2、 建設コスト、ランニングコスト及び工期についての実施方針の妥当性。
- 3、 中心市街地に立地する施設の地域商工業振興、観光振興、西川材振興及び交流コミュニティーの4拠点についてのコンセプト。

5者の提案はいずれも熱意と誠実のある提案であった。審査員はA3・2枚の提案の

課題対応について評価するため匿名の提案を読み込み、各自予め評価を行い、公開ヒアリングに臨んだ。提案者から直接提案の内容を聴き、各自課題に対する評価の確認を行った。ヒアリングの後の審査委員会は、予定通り非公開で行った。審査会では、予め読込みとヒアリングにおける再評価について、それぞれから意見を述べ、検討を重ねたのち、評価・投票を行った。投票結果について全員で審議し、最優秀者、次席の準優秀者をそれぞれ設計監理候補者及び次席候補者として推薦した。

最優秀者の提案の特徴は、屋上利用の平屋と2階建ての分棟型のイメージで、街並み形成に優れ、木造・西川材の表現に最も富んでいた。平屋を大通りに近づけて街並みの連続性を保ちながら、2階建てをセットバックさせて、親しみのある前広場を設け施設の短時間利用者の駐車場に充てる考えである。催事には、駐車場の広場活用と屋内1階の多目的室や廊下、中庭等の活用で賑わいの演出が上手くできそうである。

1階屋上の利用は、広場や1階での催しを眺められるという立体的空間利用に優れた提案と評価できる。必要諸室を含めた総床面積が最も少ない反面、使いやすさを感じさせるものである。市街地の商工業振興他観光、市民交流の拠点性に優れ、西川材振興の拠点には最も優れていると評価された。但し、防火性と外周木部の耐火について一層の配慮が望まれる。

準優秀者の提案は、大通りの街並み形成に優れ、木造化については素直な優れた案と評価された。防火性、耐火性についても良く配慮されている。多目的室が2階にあることと、拠点性、特に西川材振興の拠点性について最優秀案に比べ、インパクトが弱いという評価であった。建物は2階建てであり、バランスも良くこういうイメージの建物こそ、各地で実現されるべきという評価もあつたことを付言しておきたい。